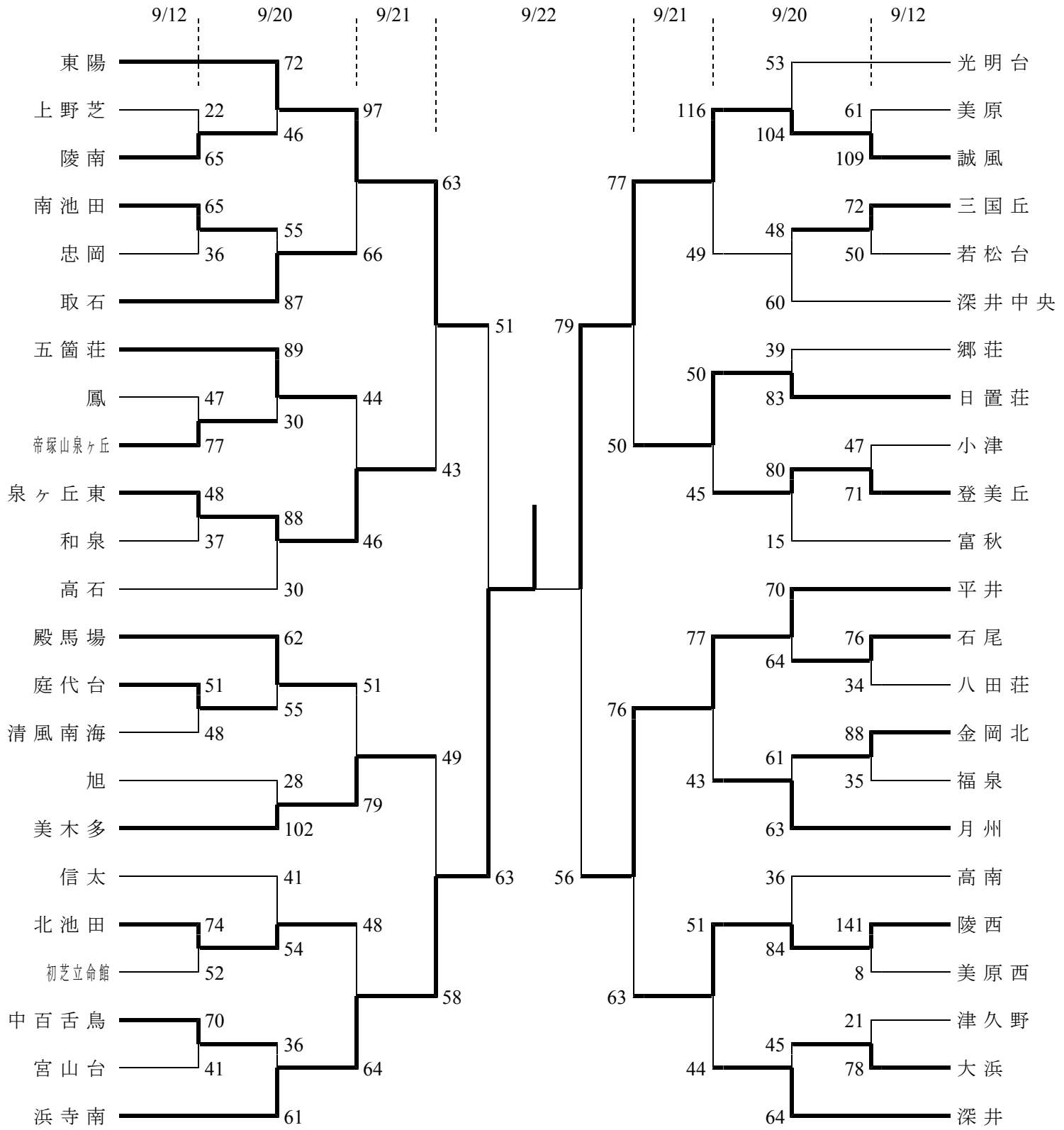


2009年度泉北地区秋季大会

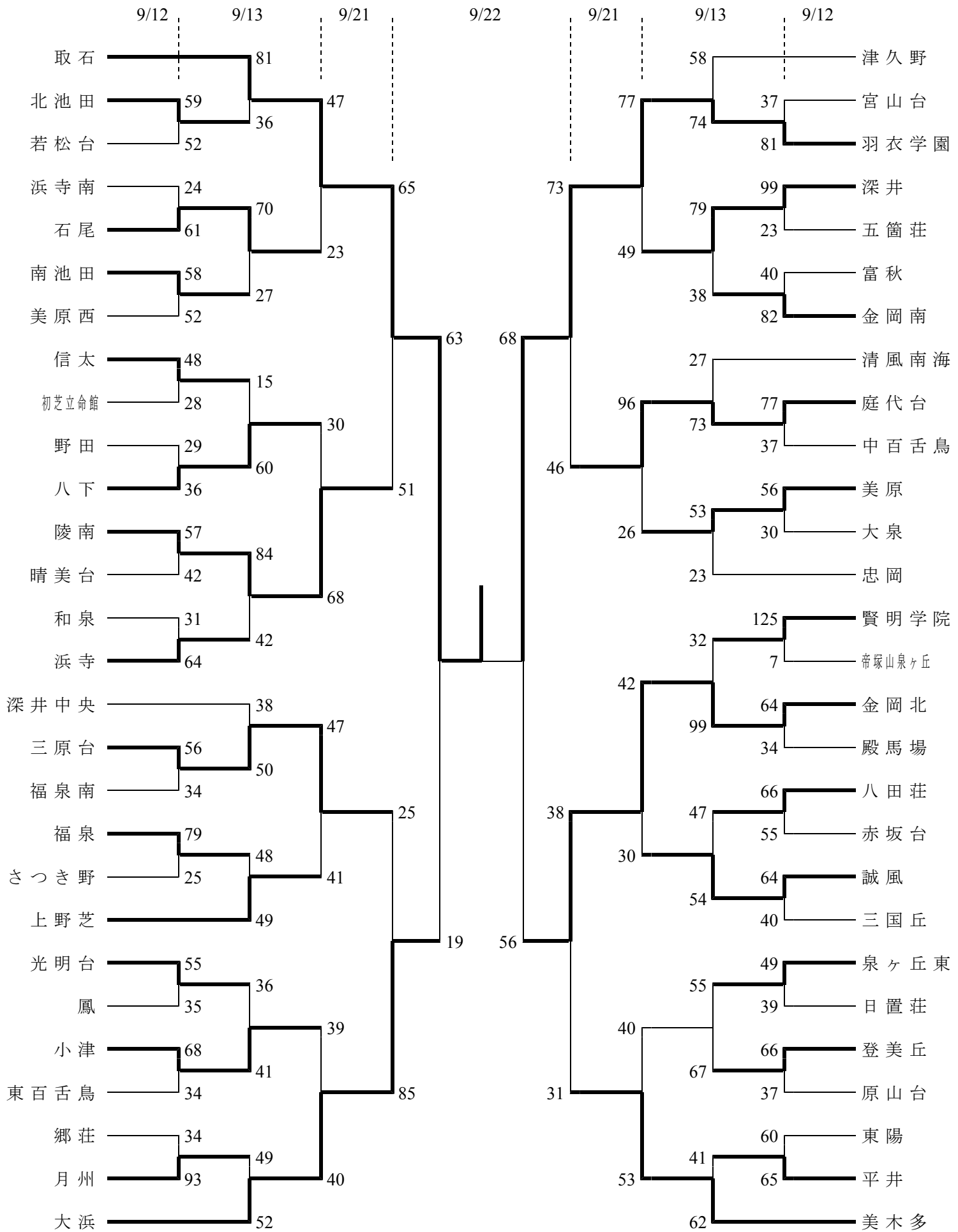
男子の部



決勝
浜寺南 7 3 - 5 2 誠風

18 1Q 12
22 2Q 12
13 3Q 9
20 4Q 19

女子の部



決勝 取石 4 8 - 4 6 羽衣学園
 15 1Q 6
 12 2Q 14
 9 3Q 10
 12 4Q 16

3位決定戦 大浜 4 8 - 8 6 金岡北

決勝戦評

◎男子 浜寺南 73-52 誠風

浜寺南はハーフマンツーマン、誠風は3-2のゾーンでスタート。浜寺南④の3Pで試合が動き出す。誠風も⑤のゴール下で得点をあげる。浜寺南は速いパスまわしとカットインから積極的に3Pを放ち、優位に試合をすすめる。誠風はそれに対して外角のシュートを抑えにかかると、浜寺南のドライブからの合わせにディフェンスを絞りきれない。18-12と浜寺南のリードで1Qを終える。

誠風はマンツーマンにディフェンスを変化させる。しかし、浜寺南の速いランジションからのシュートを止められず徐々にはなされていく。誠風はたまたまタイムアウトを取るものの、流れを変えるには至らず40-24で前半が終了する。

後半は誠風④の3Pで始まる。その後も誠風は④を中心にオフェンスを組み立てる。しかし、誠風はリバウンドやチームディフェンスが機能しなくなってしまう。隙を見せた誠風に対して浜寺南のオフェンスが襲いかかり、55-33とリードを広げて3Qを終える。

4Qは互いにシュートの入れ合いになるものの、試合の流れが変わることはなく、浜寺南が73-52で優勝を決めた。

両校ともに大阪府総体での健闘を期待したい。

(真壁)

◎女子 取石 48-46 羽衣学園

取石、羽衣学園ともにマンツーマンでゲームが始まる。両校ともに厳しいディフェンスでプレッシャーをかけ、得点を入れさせない。しかし、取石④の3Pやバスケットカウントで取石が先にペースをつかむ。対する羽衣学園はアウトサイドのシュートが決まらず、開始6分間で1点に抑えられる。羽衣学園のタイムアウト後、互いにシュートが決まり出し、1Qを15-5と取石リードで終える。

2Qは羽衣学園が⑥のジャンプシュートで先制する。羽衣学園は2-1-2のハーフコートゾーンを行い、徐々にリズムをつかむ。取石は攻めあぐねるも④⑦の3Pが良いところで決まる。羽衣学園はカットインからファールをもらい、フリースローで得点を重ねていく。また、高さを生かしたインサイドプレイも機能し、27-20と点差を縮めて前半を終える。

後半は取石⑦の3Pで始まる。双方ともに必死の攻防を繰り広げ、羽衣学園がさらなる追い上げを図るものの、取石⑥や⑦のシュートが効果的に決まる。互いに譲らず36-30で第3Qを終える。

4Qが始まると羽衣学園が一気呵成に攻め立てる。⑤のゴール下、⑥の速攻で連続得点をあげる。取石はたまたまタイムアウトを要求するも、その後も流れは変わらず⑥のシュートで同点となる。ここからは一進一退の白熱した試合展開となる。互いにプレッシャーのかかる中で気持ちのこもったプレイを続け、試合の流れは1プレイごとに双方に向かう。最後は取石がフリースローで確実に得点を決め、48-46で逃げ切った。

10月3日から行われる大阪府総体でも粘り強いディフェンスを見せ、一層の活躍をしてくれることを期待したい。

(福渡)